

政策シート 政策名 07 適切な資源管理による水産業の振興

予算費目名 01 水産業振興推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後) ◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

政策の柱 (10年後) ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

漁業協同組合が実施する特産海産物の放流・資源管理・保護対策事業への支援や、漁業者の経営近代化を支援することで、水産業の振興を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

② 飢餓	⑫ 生産・消費	⑭ 海洋資源						
------	---------	--------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	6,032	6,148	5,679	5,695		
決算	5,056	5,384	5,369			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	2,460	2,460	4,210	3,160		
年間経費(予算又は決算+A+B)	7,516	7,844	9,579	8,855		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
水産業協同組合の年間取扱高(百万円)	百万円	目標	8704	8780	8856	8932	9008	9,084
		実績	8595	7945	7,169			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

漁業協同組合が実施する特産海産物の放流・資源管理・保護対策事業への支援や、漁業者の経営近代化を支援することで、水産業の振興を図る。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
浜名漁業協同組合及び漁業者等への支援を実施し、水産業の安定的発展を推進することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	水産業振興事業	○	○	○		7,660	4,500	0.4	0.1			
2	水産業振興運営経費(一般諸経費のみ)	—	○	○		1,195	1,195					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						8,855	5,695	0.4	0.1			

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 水産業振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

水産業振興助成事業(補助金)や漁業経営資金償還利子助成事業(補助金)を通じて、水産業の維持・発展や漁業経営の近代化を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(4)イ						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	56						

(4) 関連するSDGsのゴール

	② 飢餓								
	⑫ 生産・消費		⑭ 海洋資源						
事業とゴールの 関連性	水産資源の管理と保護に努め、水産業の振興を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,900	5,000	4,500	4,500		
	決算	3,996	4,330	4,298			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	3,996	4,330	4,298	4,500		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,460	2,460	4,210	3,160		
人工	正規	0.3	0.3	0.6	0.4		
	再任用(31h)	0.1	0.1	0.1	0.1		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		6,456	6,790	8,508	7,660		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
水産業協同組合の年間取扱高(百万円)		56	目標	8,704	8,780	8,856	8,932	9,008	9,084
			実績	8,595	7,945	7,169			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

【2019-2022重点戦略項目 No.56】

- 1 水産振興助成事業(補助金)
漁業協同組合が実施する特産海産物の放流・資源管理・保護対策事業に対し、事業費の一部を補助する。
補助率: 対象経費の1/3以内
- 2 漁業経営資金償還利子助成事業(補助金)
対 象: 静岡県漁業近代化資金を貸し付けた融資機関
補助額: 浜松市漁業経営資金償還利子補助金要綱に基づき交付
限度額: 県要綱第2条第7項に定める貸付利率に1/2を乗じた額(1.5パーセントを限度)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

浜名漁業協同組合及び漁業者等に支援を実施し、水産業の安定的発展を推進することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜名漁業協同組合が実施した、トラフグ稚魚の放流・海苔の種苗生産・あさりの資源管理・保護対策事業へ補助を実施して、浜松市の水産業の総合的な振興を図ることができた。また、漁業者等が借り入れた資金に対し、利子補助を実施することで、漁業経営の近代化を促進することができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も浜名漁業協同組合が実施する、資源管理・保護対策事業へ補助を実施して、浜松市の水産業の総合的な振興を図っていく。また、漁業者等が借り入れた資金に対し、利子補助を実施して、漁業経営の近代化を促進していく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目 No.56】

- 1 水産振興助成事業(補助金)
漁業協同組合が実施する特産海産物の放流・資源管理・保護対策事業に対し、事業費の一部を補助する。
補助率: 対象経費の1/3以内
- 2 漁業経営資金償還利子助成事業(補助金)
対 象: 静岡県漁業近代化資金を貸し付けた融資機関
補助額: 浜松市漁業経営資金償還利子補助金要綱に基づき交付
限度額: 県要綱第2条第7項に定める貸付利率に1/2を乗じた額(1.5パーセントを限度)

事業シート (事業名) 02 水産業振興運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

- ・船員法に基づく、事務手続きを行う経費
- ・水産業協同組合法に基づく検査及び許可事務に関する経費
- ・農業水産課(水産業振興)の運営のための経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	56						

(4) 関連するSDGsのゴール

	②飢餓								
	⑩生産・消費								
事業とゴールの 関連性	水産資源の管理と保護に努め、水産業の振興を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,132	1,148	1,179	1,195		
	決算	1,060	1,054	1,071			
	国・県支出						
	市債						
	その他	15	15	3	5		
	一般財源 一般会計繰入金	1,045	1,039	1,068	1,190		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,060	1,054	1,071	1,195		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
水産業協同組合の年間取扱高(百万円)		56	目標	8,704	8,780	8,856	8,932	9,008	9,084
			実績	8,595	7,945	7,169			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- 2 水産業振興運営経費
- (1) 検査・研修旅費
 - (2) 消耗品
 - (3) 役務費
 - (4) 佐鳴湖に対する内水面漁場環境維持委託
 - (5) 使用料



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・健全な事業執行により、地域産業の振興を図った。
- ・船員手帳の交付等、迅速な事務手続きを行いサービスの向上を図った。
- ・協同組合法に基づく検査及び許認可事務を適正に執行した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

水産業の振興を推進するため、効率的な事務を実践し、経費の削減に努める。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業を継続を図り、水産業の振興を推進する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- 2 水産業振興運営経費
- (1) 「金魚」「錦鯉」優秀者に対する褒賞
 - (2) 検査・研修旅費
 - (3) 消耗品
 - (4) 役務費
 - (5) 佐鳴湖に対する内水面漁場環境維持委託
 - (6) 使用料

